



「大和言葉」で知的に上品に

「大和言葉」とは、古来から使われている日本語のことです。「夕暮れ」「清らか」など日本の自然や風土から育まれました。柔らかく美しい響きを持つ言葉で、自然の美しさや相手への敬意が感じられます。今回はビジネス場面で使える表現を紹介します。

心待ちにしています

相手の来訪をただ「待っています」と伝えるのは、何となく言葉足らずだと感じたことはありませんか？
会話やメールの末尾に一言「心待ちにしています」と添えることで、会えることを楽しみにしている気持ちが伝わります。

「日本語」は大きく分けて3つ

「大和言葉」 ありがとう

「漢語」 感謝

「外来語」 サンキュー

お力添えをお願いします

上司や社外の人へ支援・援助をお願いすることが多々あります。「ご協力お願いします」ということもできますが、やや強制しているようなニュアンスを感じさせることもあるため、「お力添え」を合わせて覚えておくといいでしょう。より心のこもった言葉を選ぶことで、相手も快く依頼を受け入れてくれます。

続けざまですみません

尋ねたいことで、数分おきにメールを送ってしまう、といったときの謝罪には「続けざまですみません」という言葉がぴったりです。「連続して何度も」より美しい言葉でスムーズに受け入れてもらえるはずです。



カタカナで「リスケ」など何気なく使っているなど感じます。大事な気持ちを伝えたいときは「大和言葉」を使い、奥ゆかしく美しい言葉遣いを身に着けたいものです。（S.Y）